

カリキュラム

機構施設名： 岡山職業能力開発促進センター
 実施機関名： 学校法人産業能率大学

A. 生産管理	原価管理	原価管理とコストダウン
----------------	-------------	--------------------

コースのねらい	低コスト化と生産性向上を目指して、原価管理をコスト(費用削減)と生産性(業務効率向上)の2軸で捉え、企業収益向上のポイントを習得する。
----------------	---

指導内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間(H)	
	1	原価管理とは	(1)コスト(原価)について理解する コスト(原価)についての理解を深めます。コストとプライスの違い、企業はなぜコスト(原価)を管理するのか、原価管理の種類、コスト(原価)と仕事の価値との関係等についても理解を深めながら、原価管理の背景を理解します。 (2)コスト(原価)の成り立ちについて理解する 当研修におけるコスト(原価)の捉え方を説明します。このセッションでは、コスト(原価)の構成要素とは何かおよびコスト(原価)の変動要因は何かについて掘り下げていきます。 【演習】原価(コスト)の変動要因を考えよう！	2.0
	2	コスト削減	(1)モノのコスト(原価)を見える化する モノのコスト(原価)の計算方法について理解を深めます。以下の2つの演習を行うことで、計算式に慣れることとコスト(原価)削減に着手する際の物の見方・考え方についても理解を深めます。 【演習】身近なモノのコスト(原価)を試算してみよう！ 【演習】コスト(原価)改善案を考えてみよう！ (2)業務のコスト(原価)を見える化する このセッションでは、業務に着目したコスト(原価)の算出法について学びます。以下の演習を通じてより理解を深めます。 【演習】自分の時給を考えてみよう！ 【演習】業務のコスト(原価)を計算してみよう！ (3)仕事の価値を向上する ここでは、仕事の価値の評価方法および価値向上に向けての考え方&方法について学びます。 【演習】価値の向上する業務改善案を考えよう！	3.5
	3	IE手法による標準時間設定方法	(1)IE手法による標準時間設定 生産現場の多くで活用されているIE(Industrial Engineering)に関する基本的な考え方を解説します。作業測定方法、標準時間の基本構成、正味時間の測定方法、余裕率の測定方法等について解説します。	0.5
合計時間			6.0	

訓練に使用する機器等	
●機器・ソフトウェア(受講者用)	●機器・ソフトウェア(講師用・その他)
・特になし	・講師用PC(講師持参)
●テキスト	●その他
・産業能率大学作成オリジナルテキスト	